ハンドセット、ヘッドセット、および スピーカフォンの使用方法

ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンと一緒に電話機を使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明
ハンドセットを使用する	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを置きます。 ハンドセットのためのワイドバンド設定を変更する必要がある場合（ハンドセットを変更する場合など）、 > **［ユーザ設定］** > **［オーディオ設定］** > **［ワイドバンドハンドセット］** を選択します。ワイドバンド ハンドセットの設定がグレー表示になっている場合、ユーザはこの設定を制御できません。
ヘッドセットを使用する	ヘッドセット モードのオン / オフを切り替えるには、を押します。ヘッドセットの使用中は、や など、電話機のすべてのコントロールにアクセスできます。 自動応答を使用する場合は、P.56 の「自動応答の使用」を参照してください。 ワイドバンドをサポートするヘッドセットを使用する場合は、電話機でワイドバンドの設定を有効にすると、オーディオの感度が上がる場合があります（この設定はデフォルトでは無効になっています）。この設定にアクセスするには、 > **［ユーザ設定］** > **［オーディオ設定］** > **［ワイドバンドヘッドセット］** を選択します。ワイドバンド ヘッドセットの設定がグレー表示になっている場合、ユーザはこの設定を制御できません。 システム管理者に、電話機システムがワイドバンドを使用するように設定されているかどうかを確認します。システムがワイドバンド対応に設定されていない場合は、ワイドバンド ヘッドセットを使用してもオーディオの感度が上がったとは感じられない場合があります。ヘッドセットの詳細については、ご使用のヘッドセットのマニュアルを参照するか、システム管理者にお問い合せください。

目的	必要な操作または状態の説明
スピーカフォンを使用する	スピーカフォン モードのオン/オフを切り替えるには、を押します。 ハンドセットが受け台に置かれていて、が点灯していないときに電話番号をダイヤル、またはコールに応答すると、通常はスピーカフォン モードが自動的に有効になります。
コール中に（ハンドセットから）スピーカフォンまたはヘッドセットに切り替える	またはを押し、ハンドセットを置きます。
コール中に（スピーカフォンまたはヘッドセットから）ハンドセットに切り替える	ボタンは何も押さずに、ハンドセットを取り上げます。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときにを押します。 この操作によって、ハンドセット、スピーカフォン、またヘッドセットの使用状況に応じて、それらのボリュームを調節します。 ［保存］を押して、以降のコールのために音量レベルを保存します。

ヘッドセットの購入

電話機では、電話線が 4 本または 6 本のヘッドセットのジャックがサポートされています。ヘッドセットの購入については、P.6 の「ヘッドセットについて」を参照してください。

自動応答の使用

自動応答が有効である場合、電話機は、2 ～ 3 回の呼出音の後、自動的に着信コールに応答します。システム管理者は、スピーカフォンまたはヘッドセットのいずれかの使用時に自動応答するように設定します。大量の着信コールを受ける場合、自動応答を使用すると便利です。

目的または状態	必要な操作または状態の説明
ヘッドセットで自動応答を使用する	通話中以外も、ヘッドセット モードを有効（つまり が点灯した状態）にしておきます。 ヘッドセット モードを有効にするには、次の手順を実行します。 • ［終了］を押して切断します。 • ［発信］または ［ダイヤル］を押して、新しいコールを発信します。 電話機がヘッドセット モードで自動応答を使用するように設定されていると、 が点灯している場合に限り、コールが自動的に応答されます。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。
スピーカフォンで自動応答を使用する	ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセット モードを非アクティブ（ が消灯）にしておきます。 条件が満たされていない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動で応答する必要があります。

ヒント

自動応答は、サイレント機能がアクティブの場合は無効になります。